

がんばろう！東北

平成23年7月1日14時00分
東北地方整備局

XバンドMPレーダの降雨観測情報の 試験配信の開始について

平成20年に発生した岩手・宮城内陸地震により栗駒山周辺地域では河道閉塞(天然ダム)が形成されるなど、大規模な土砂災害が発生しました。本地域では現在復旧工事を行っているところですが、依然として土砂災害発生の高危険性が高い状態です。

今般、本地域において、天然ダムの監視等を目的として、高精度で迅速な局所豪雨の観測ができるXバンドMPレーダを設置し、試験運用を開始しました。

XバンドMPレーダの観測では、従来のCバンドレーダではとらえることのできなかつた降雨についても、詳細かつリアルタイムでの観測が可能となり、流域の監視体制を強化することができます。

なお、本地域の観測範囲には、東北地方太平洋沖地震に伴い地盤が沈下した太平洋沿岸地域の一部が含まれております。

XバンドMPレーダの試験運用による降雨観測情報の一般配信を7月1日より開始しますのでお知らせします。

※国土交通省水管理・国土保全局でも同様の発表を行っております。

◆レーダ設置場所

- ・岩手県一関市狐禅寺字石ノ瀬155-81 岩手河川国道事務所 一関出張所
- ・宮城県栗原市一迫真坂字清水田河前5番地 栗原市役所 一迫総合支所

◆運用開始日

- ・平成23年7月1日(金)

◆WEBサイト

- ・URL <http://www.river.go.jp/xbandradar/>

<記者発表先:宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会>

<問い合わせ先>

国土交通省 東北地方整備局 Tel.022-225-2171(代)

・栗駒山周辺地域の観測について

河川部 河川計画課長 舛田 直樹 (内線 3611)

・XバンドMPレーダのシステムについて

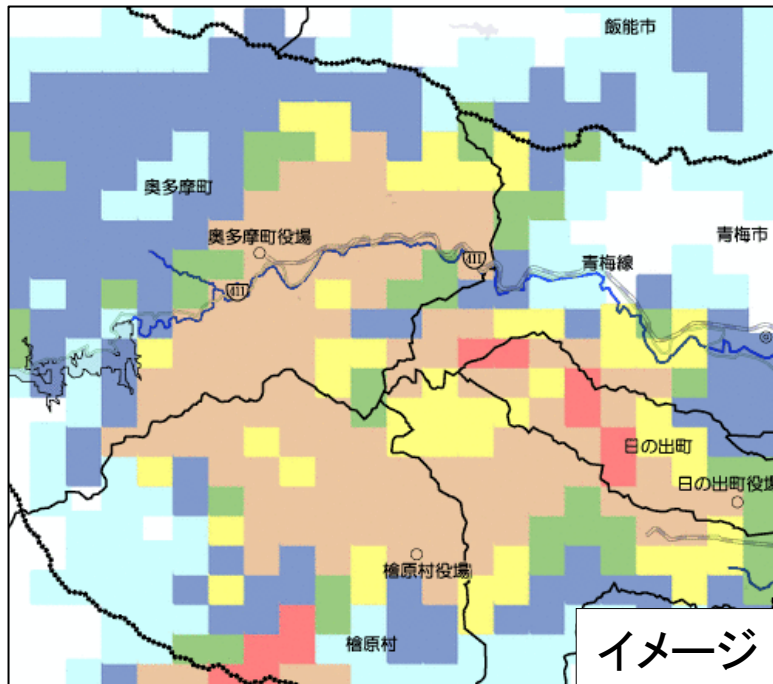
企画部 情報通信技術課長 鈴木 弘二 (内線 3351)

XバンドMPLレーダについて

- 高頻度、高分解能なXバンドMPLレーダを導入し、局地的な大雨の観測体制を強化します。
- 従来レーダ(Cバンドレーダ)に比べ、高頻度(5倍)、高分解能(16倍)での観測が可能です。また、これまで5~10分かかっていた配信に要する時間を1~2分に短縮しております。

【既存レーダ(Cバンドレーダ)】

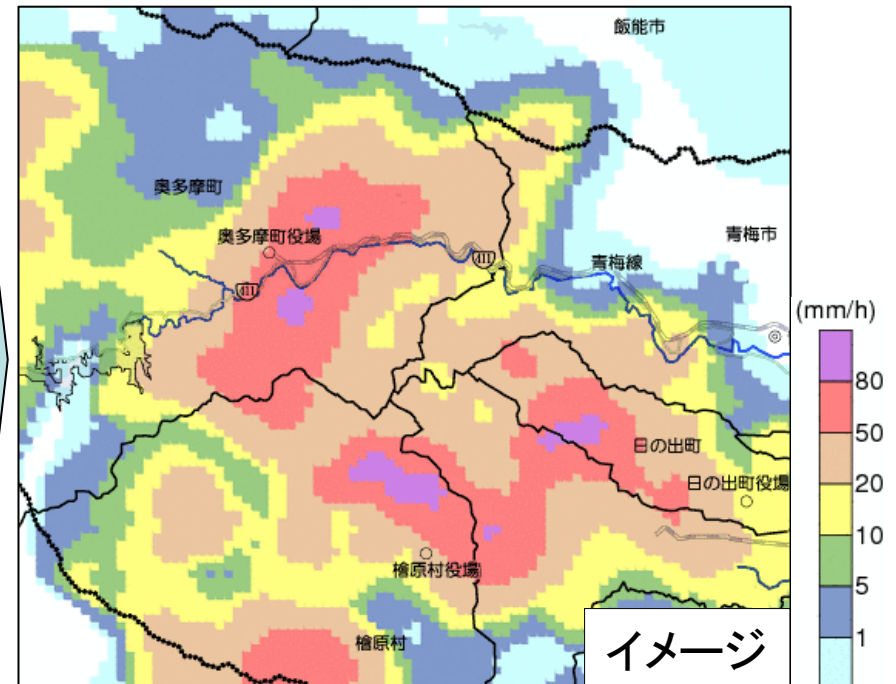
(最小観測面積: 1kmメッシュ、観測間隔: 5分
観測から配信に要する時間 5~10分)



・高頻度(5倍)
・高分解能(16倍)

【XバンドMPLレーダ】

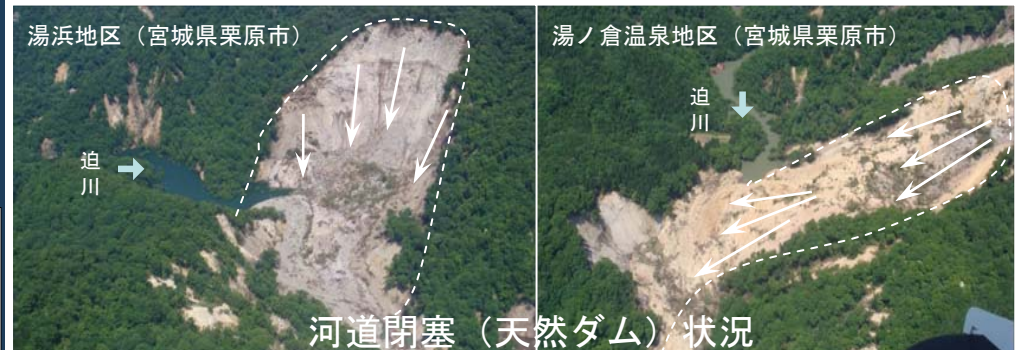
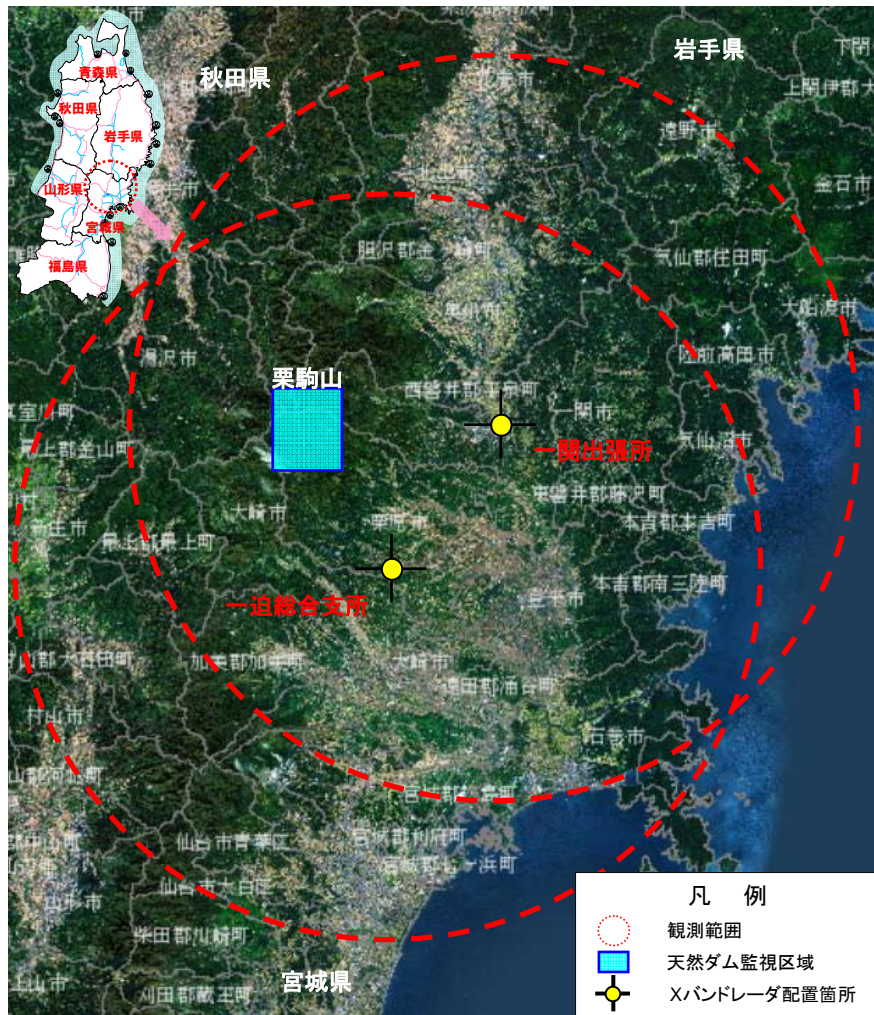
(最小観測面積: 250mメッシュ、観測間隔: 1分
観測から配信に要する時間 1~2分)



※Cバンドレーダは広域的な降雨観測に適するのに対し、XバンドMPLレーダは観測可能エリアは小さいものの局地的な大雨についても詳細かつリアルタイムでの観測が可能。

栗駒山周辺地域の観測について

- 平成20年6月に発生した岩手・宮城内陸地震により、栗駒山周辺地域では大規模な河道閉塞(天然ダム)が形成されるなど、土砂災害が発生しやすい状態が続いています。このため、天然ダムの監視等を目的としてXバンドMPLレーダを整備し、栗駒山周辺地域の監視体制を強化します。
- 平成23年7月1日から宮城県栗原市、岩手県一関市の2箇所を設置したXバンドMPLレーダで試験運用を開始します。



WEB画面(栗駒山周辺地域:全体表示)

〇XバンドMPLレーダの観測情報は、<http://www.river.go.jp/xbandradar/> にアクセスすると以下の画像がご覧頂けます。

XバンドMPLレーダ雨量情報

雨量情報

地域選択: 栗駒山周辺

表示設定: 全体表示 | 1枚表示

履歴: 4枚表示 | 最新時刻

凡例

- 100mm/h~
- ~100mm/h
- ~50mm/h
- ~20mm/h
- ~10mm/h
- ~5mm/h
- 0.1~1mm/h
- データなし

詳細図の位置選択

説明: マップ上をクリックするとその位置の詳細画面を表示します。